



2020年8月14日

各位

会社名 株式会社 イオレ
代表者名 代表取締役社長 小川 誠
(コード：2334、東証マザーズ)
問合せ先 取締役 岩崎 啓昭
(TEL. 03-4455-7092)

2021年3月期通期業績予想に関するお知らせ

2020年5月15日に公表しました「2020年3月期決算短信」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月15日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	1,300 ～1,501	△327 ～△271	△307 ～△250	△309 ～△252	△132.76 ～△108.41
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	1,844	26	26	0	0円41銭

2. 業績予想の理由

2021年3月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を合理的に算出することが困難であったことから、その影響額を織り込んだ業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や市場動向の予測等に基づき、レンジ形式で通期の業績予想を公表いたします。これらの業績予想は、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な状況であり、下期においても当該状況が一定程度継続するものの、今後は予防対策を伴いながら徐々に経済活動が再開され、企業の求人意欲の回復が緩やかに進むことを前提としております。従って、第3四半期以降は事業環境も緩やかに改善される見通しですが、第1四半期までの状況や今後の経済情勢、顧客及び市場動向等を総合的に勘案した結果、減収減益の業績予想となりました。

第1四半期から企業において求人意欲の低下による採用活動の縮小や延期等の動きは継続しているものの、売上高は2020年5月の緊急事態宣言前後を底に回復基調になると見込んでおりますが、今後は予防対策を伴いながら徐々に経済活動が再開され、企業の求人意欲の回復のタイミングや度合いによって当社を取り巻く事業環境も回復していくと仮定し、業績予想に反映しております。上限については2020年10月以降、緩やかに求人意欲が回復するケースを想定しており、下限については緊急事態宣言の再発出までは想定していないものの、市場環境の回復が遅れるケースを想定しております。

当社におきましては、事業環境の変化に臨機応変に対応しつつ、新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた取り組みを継続してまいります。

※上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上